特集 水害に備える

近年、台風やゲリラ豪雨などの大雨による災害は大規模になっており、日ごろから災害への備えが大変重要となっています。

地震や洪水の被害を予想したハザードマップを活用し、「地域の危険箇所」や「避難経路」を確認してください。

また、事前に家庭内で災害時の避難について考えていただき、落ち着いた行動ができるよう備えましょう。

なお、今月の表紙は、令和元年台風第19号により冠水した道路とその道路のふだんの状態を比較したものです。

安心安全課防災担当（内線 373）

いつ避難する？ 警戒レベル３・４で避難しましょう。

次の表は、警戒レベルとその時に取るべき避難行動、または発表されている気象情報です。

出典：内閣府（防災担当）・消防庁

警戒レベル４は、全てのかたの避難が必要な状況

警戒レベル３は、避難に時間のかかるかたが避難を始める状況

避難前に必ず避難所の開設状況を確認！！

どこに避難する？ 安全が確保できる場所に行き（とどまり）ましょう。

避難は必ずしも『自宅を離れて避難所に行く』ことだけではありません。
自分の置かれている状況に合った行動のしやすい避難先を考えましょう。

在宅避難

浸水する可能性が少ないところやマンションの上階（浸水深以上）に住んでいるかた

↓

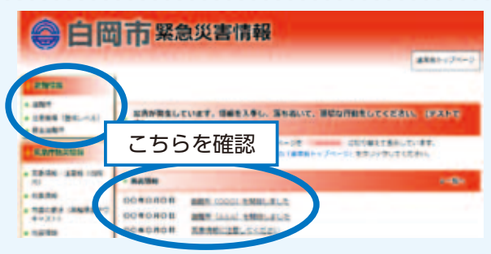
水道や電気などの利用が寸断（制限）された場合に備え、飲料水、携帯用トイレ、ラジオやスマホ（バッテリーも）などの情報を得る手段を確保しましょう。

広域避難

浸水する可能性の少ない親族や知人宅に避難する。

避難所に避難

避難前に必ず避難所の開設状況を確認！！



避難所開設情報等を白岡市公式ホームページの◯の緊急情報欄や白岡市安心安全メール、防災行政無線で確認し、道路状況などに気をつけて避難しましょう。

避難計画を作ろう！ （例）を参考に自分の行動を考えて記入してみましょう。

	発令される情報（ ）は発表元	何を用意する	何をする
5	緊急安全確保（市）	（例）ラジオ、携帯電話、防災用品、常用薬、動きやすい服・靴、貴重品	（例）・情報の確認（※） ・靴を履き、家のなるべく高い所で待機
4	避難指示（市）	（例）ラジオ、携帯電話、防災用品、常用薬、動きやすい服・靴、貴重品、感染症対策用品	（例）・避難情報の確認（※） ・警戒レベル３で近くに住む家族を安全が確保できる自宅に連れてくる ・警戒レベル４で大雨が続く予報だったら、避難開設状況を確認し、避難所に向かう
3	高齢者等避難（市） 大雨・洪水警報（気象庁）	（例）ラジオ、携帯電話、防災用品、常用薬、動きやすい服・靴、貴重品、感染症対策用品	
2	大雨・洪水注意報（気象庁）	（例）ラジオ、携帯電話、白岡市地震・洪水ハザードマップ、防災用品、動きやすい服	（例）・情報の確認（※） ・ハザードマップで再確認（現在地や避難所） ・防災用品の在庫を確認 ・すぐに持ち出しや着替えができるようにする
1	早期注意情報（気象庁）	（例）ラジオ、携帯電話、荷造りひも	（例）・気象情報の確認 ・家の外にある自転車が風で倒れないように固定

※避難に関する情報を早く入手できるよう下の３つを確認しましょう！

白岡市公式ホームページ 白岡市公式ツイッター	白岡市安心安全メール （防災情報などをメールでお知らせするサービスです（登録制）。）	気象庁ホームページ （事前に知りたい市町の情報を設定すると次回からの確認が簡単です）
ホームページ　ツイッター		

二次元コードを読み込んでください。

防災一口メモ

もっと詳細な避難計画を作りたいかたはこちら

国土交通省関東地方整備局では、自分が取るべき避難行動を時系列にまとめて避難時の行動チェックに活用する「マイ・タイムライン」を紹介しています。

その中でも**「小中学生向けマイ・タイムライン検討ツール　～逃げキッド～」**は、説明が分かりやすく、おすすめです。ぜひ、作成してみましょう！